

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	花と緑のまちづくり事業					事務事業コード	01807
部 名	都市建設部	課 名	道路整備課	係 名	道路管理係	部課コード	050400

1. 事業概要

総合計画コード	5231				
事業年度	年度 ～ H 年度		事業類型	◎ソフト事業 ○ハード事業	
法令等の義務付け	○法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 ○義務と任意の両方を含んでいる事業 ◎任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 朝霞市道路美化活動団体制度実施要綱	
めざす 目的成果	道路、駅前広場が美しく花と緑にあふれ、住民が気持ちよく通行できている。 既設植樹帯へ確実に補植などが行われ、住民が緑の空間を通行できている。				
事業内容	既設植栽の充実、維持管理、花プランターの設置。 道路の植樹帯を点検し補植を行う。 道路美化活動団体に花の苗等必要な物資を支給する。				
事業手法	☐ 市の完全な直営 ☒ 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) ☐ 市民等との協働 ☐ 補助金交付 市で管理している植樹帯の維持管理業務を委託する。 道路美化活動団体の募集。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容			除草及び街路樹剪定委託料 40件 道路緑化整備委託料 2件 駅前広場フラワー化委託料 3件 植樹帯修繕工事 0件 道路美化活動団体 19件						
単位:千円			H26年度決算		H27年度決算		H28年度決算見込		
投入コスト	a 事業費[イ]～[ホ]		26,376		24,356		29,049		
	財源内訳	[イ]国庫支出金							
		[ロ]県支出金							
		[ハ]地方債							
		[ニ]その他							
		[ホ]一般財源	26,376		24,356		29,049		
	b 人件費		5,862		5,130		4,763		
総コスト(a 事業費 + b 人件費)		32,238		29,486		33,812			
投入労働量		常勤職員等(人工)		0.80 人		0.70 人		0.65 人	
		一般職非常勤職員等(時間)		時間		時間		時間	
a 事業費 (H28年度決算見込)の執行内訳		委託料 28,252千円 需用費 584千円 工事費 213千円							
指標名			単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度		
活 動	①	除草、剪定件数	件	50	50	50	50		
				(40)	(—)	(—)	H	32	年度
	②	道路美化活動団体数	団体	20	21	21	22		
				(19)	(—)	(—)	H	32	年度
成 果	①	除草、剪定要望達成率	%	100	100	100	100		
				(100)	(—)	(—)	H	32	年度
	②								
				()	(—)	(—)	H		年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	☐ A 必要性が高い	☒ B 必要性がある程度認められる	☐ C 必要性が低い
	☒ 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される ☒ サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている ☐ 法令等により、市に実施が義務付けられている ☐ 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる ☐ 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい ☐ その他 <説明> 道路上に設置してある植樹帯は、道路管理者が管理する必要がある。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	☐ A 目標よりも大きな成果が得られた	☒ B 概ね目標の成果が得られた	☐ C 目標とする成果が得られなかった
	☐ 活動指標の目標を達成した ☒ 成果指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 定期的に除草、植え替え等を実施することができた。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 道路、駅前広場が美しく花と緑にあふれ、住民のみならず朝霞市を訪れる方のPRになった。 参加と協働: 美化団体と協働し、植栽や掃除などを行って、花や緑の維持管理ができた。 経営的な視点: 美化団体に植栽等の維持管理をお願いすることにより、コストを抑えて緑の空間を維持することができた。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	☐ I 見直す余地がない	☒ II 見直す余地がある程度認められる	☐ III 見直す余地がある
	☐ 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある ☐ 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある ☒ サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある ☐ 受益者負担のあり方について見直す余地がある ☐ 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある ☐ 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある ☐ その他 <説明> 道路美化活動団体の募集を引き続き行う。			

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	☒ A 市で継続実施 ☐ B 休止・廃止 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ C 民営化 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ D 国・県に移譲 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ E 終了 (実施時期: ☐ H28年度まで ☐ H29年度まで ☐ H30年度まで)			
	成果の方向性	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小		
今後の取組方針	投入資源の方向性	事業費	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小	
		労働費	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小	
		☐ A 見直して継続 ☒ B 現状のまま継続		
	見直しの方向性	☐ 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ 業務プロセス改善 (実施時期: H 年度) ☐ 対象・水準等の見直し (実施時期: H 年度) ☐ 受益者負担の見直し (実施時期: H 年度) ☐ 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ その他 (実施時期: H 年度)		
		方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)		
除草や植栽帯の管理を今後も適切に実施する。				